



バグダッド 日 誌 (4月30日)

○勤勉を美德とするエルサルバドル

キャンプ・ヴィクトリーには、エルサルバドルから2人の中佐が連絡幹部として勤務しており、大変日本隊と仲がよい。我々第5次バグダッド連絡班がキャンプ・ヴィクトリーに到着した時に、当時勤務していた大佐がドライバーをして我々をBIAP(バグダッド・インターナショナル・エアポート)まで迎えにきてくれたりと到着当初から良い関係である。先月実施されたSNR会議(各国代表者会議)でも派遣部隊長(准将)に私を真っ先に紹介してくれ、部隊長にも大変親しくして頂いた。

先日たまたま日本隊コンテナの前を[]が通りかかったので、ハイテク・アーマー・ボックスに招待した。エルサルバドルでは日本のテレビ番組が良く放映されているようで、中佐の小さい頃には「キャンディ・キャンディ」「ゴジラ」「ウルトラマン」の大ファンだったそう。いまでもウルトラマン・セブンの「モロボシ」隊員を覚えていると我々を驚かせた。

今エルサルバドルで大人気のテレビ番組はNHKで放映していた「プロジェクトX」なのだそうで、ますます日本人に良い印象をもっている。

エルサルバドル国民は大変勤勉なのだそう。隣国との関係で問題となるのは、エルサルバドル人が出稼ぎで隣国で仕事をすると、勤勉に働くため現地の雇用バランスを壊してしまうそう。なるほど二人の中佐も朝早くから夜遅くまで勤勉に勤務している。旧ソ連系で「自分は自国の先任連絡官だ。」と高飛車にふるまいコアリション・オフィスの清掃等も手伝わず、また肝心の仕事もしているとは思えない大尉・中尉とは雲泥の差である。

「勤勉」を美德として日本人と共有の価値観を有するエルサルバドル、こちらに勤務するまではほとんど知らなかった国であるが、今は尊敬に値する国だと強く私の心に刻まれている。

()